

## 数理・データサイエンス・AI教育プログラム自己点検・評価

### 令和5年度結果

#### 1. 対象科目

- ICT基礎および実習Ⅰ（必修：1年1クォータ）
- データサイエンス・AI基礎（必修：1年2クォータ）

#### 2. 履修者数

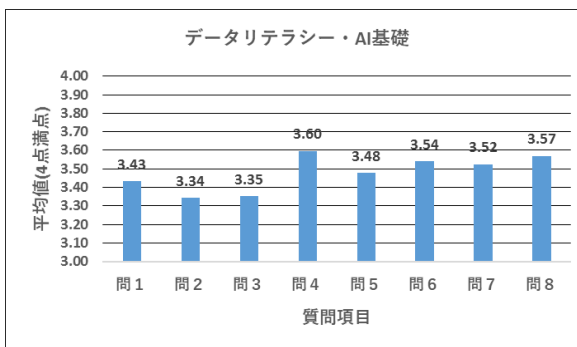
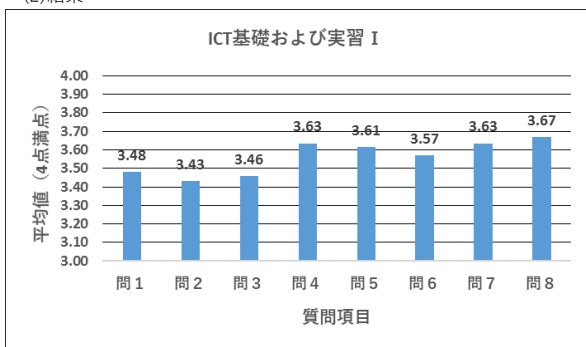
科目名	履修者数			合格者数		
	学科名		技能工芸 学部 (合計)	学科名		技能工芸 学部 (合計)
	情報メカト ロニクス	建設		情報メカト ロニクス	建設	
ICT基礎および実習Ⅰ	90	130	220	86	126	212
データリテラシー・AI基礎	89	130	219	81	126	207

#### 3. 授業アンケート結果（4点満点）

##### (1) 質問項目

- 問1 この授業科目を受講して、本学のディプロマ・ポリシーで示している能力（現場力、課題設定・解決力、マネージメント力、耐力、胆力、協働能力、コミュニケーション力）を伸ばすことができた
- 問2 この授業が目標としている技術、知識・理論などが十分に理解・修得できた
- 問3 この授業科目の扱う分野や、関連する他の分野に関する技能・技術・知識などについて、問題意識や興味・関心が高まった
- 問4 授業内容はWebシラバスに記載されている授業計画通りに実施された
- 問5 担当教員の説明や実技指導は分かりやすかった
- 問6 授業に集中できる環境の確保や授業活性化に向けての学生への働きかけなど、担当教員は授業を円滑な進捗に努めていた
- 問7 この授業科目の内容のレベル（専門性、難易度など）は、配当学年や学期、事前に要求される知識などから考えて、適切であった
- 問8 この授業科目を受講して有意義であった

##### (2) 結果



理解度等について検証する問2「この授業が目標としている技術、知識・理論などが十分に理解・修得できた」の回答平均値は、「ICT基礎および実習Ⅰ」3.43点、「データサイエンス・AI基礎」3.34点であった。満足度について検証する問8「この授業科目を受講して有意義であった」の回答平均値は、「ICT基礎および実習Ⅰ」3.67点、「データサイエンス・AI基礎」3.57点となった。満足度が3.6点程度であったことから、本プログラムが概ね学生の実態に合致した講義内容であったと考えられる。

#### 4. 授業振り返り

##### (1) ICT基礎および実習Ⅰ

- ・全体として問題なし。
- ・合格できる心配であった学生も、毎回、教室に来て課題をこなして合格ラインを超えた。
- ・メールおよびGoogleClassroomからの連絡事項を確認して取り組んでもらえれば、課題のレベルは難しくないところを配慮して取り組ませた。

##### (2) データリテラシー・AI基礎

- ・MATLAB自体は1Q「ICT基礎および実習Ⅰ」でも体験しているので、今回継続した演習になっている点が良かった。
- ・スマートフォンに搭載されているセンサを利用したデータ処理（MATLAB MOBILE）、機械学習を用いた画像認識（ラベル、分類）などを体験できたので良い機会になったと思います。
- ・「データサイエンス・AIの利活用」については、担当教員一人ひとりが提案・発想して取り組めた。